

平成30年度 歳出予算(事業計画)

皆さまからお寄せいただく資金をもとに次のとおり事業を実施します。



● 国内外の救護活動に	66,699,000円 (18.3%)
● 本社事業(国際活動など)に	41,702,000円 (11.4%)
● 救急法等の講習普及や献血推進などに	29,570,000円 (8.1%)
● 奉仕団・青少年赤十字活動に	28,545,000円 (7.8%)
● 赤十字活動の普及・啓発、社資増強に	63,216,000円 (17.3%)
● 地域(市町村)の赤十字活動に	49,000,000円 (13.4%)
● 支部の運営、施設管理などに	84,653,000円 (23.2%)
● 予備費	2,000,000円 (0.5%)
合計	365,385,000円 (100%)

ひとりでも多くの人を救うために、赤十字活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

活動資金のご協力方法 主に以下の方法で寄付を受け付けています。

- ① 金融機関による振込
- ② 口座振替、クレジットカード決済による寄付
- ③ 直接現金をお持ちいただく



くわしくは、担当までご連絡ください。 日本赤十字社群馬県支部組織振興課 TEL:027-254-3636

ボランティア宅本便はじめました!

ボランティア宅本便®

本・CD・DVD・ゲームを集めて
日本赤十字社に寄付しよう!

BOOK-OFF Online

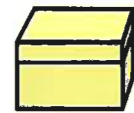


ボランティア宅本便とは...

いらなくなった本、CD、ゲームソフトなどを捨ててしまうならば、誰かの笑顔のために役立てていただけませんか? ボランティア宅本便は、そんな方々の気持ちを日本赤十字社とブックオフとが提携し、ブックオフにお売りいただいた代金が日本赤十字社群馬県支部の活動のために寄付されるものです。

お申し込みは
とっても
簡単!!

箱詰めして



群馬県支部HP

日赤群馬 検索



ブックオフ
が集荷!



Facebookみてね

群馬県支部の活動を紹介しています。

日赤群馬 フェイスブック

検索



ぐんまの赤十字

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

発行: 日本赤十字社群馬県支部 〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 電話 027-254-3636
URL <http://gunmajrc.dsbsv.net/>

第19号

平成30年4月1日

草津白根山 噴火災害



写真: 渋川広域消防本部提供

平成30年1月23日午前9時59分ごろ草津白根山(本白根山)が噴火しました。噴石による負傷者が多数発生したため、発災直後から前橋赤十字病院DMAT、原町赤十字病院DMAT、日赤群馬県支部職員が災害現地へ向かい医療救護活動のほか、救援物資の搬送などの活動を行ないました。

※DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム」

日本赤十字社の活動は、みなさまのご寄付により支えられています。
赤十字活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

草津白根山噴火災害の対応

初動救護班(DMAT)派遣

No	派遣期間	派遣先	所属及び派遣人数	主な活動
第1班	1/23(火)	西吾妻福祉病院	前橋赤十字病院7名 (医師2名、看護師3名、業務調整員2名)	活動拠点本部(西吾妻福祉病院)の支援、 天狗山第5駐車場でのトリアージ※1
第2班	1/23(火)	西吾妻福祉病院	前橋赤十字病院4名 (医師2名、看護師1名、業務調整員1名)	活動拠点本部(西吾妻福祉病院)での 医療活動の統括、指揮
第3班	1/23(火)	西吾妻福祉病院	原町赤十字病院5名 (医師1名、看護師2名、業務調整員2名)	活動拠点本部(西吾妻福祉病院)の支援、 救急車での医療搬送
第4班	1/23(火)	群馬県庁	前橋赤十字病院4名 (医師1名、看護師1名、業務調整員2名)	群馬県災害対策本部での医療コーディネート
第5班	1/23(火)	西吾妻福祉病院	前橋赤十字病院3名 (医師1名、看護師1名、業務調整員1名)	ドクターヘリでの医療搬送、活動拠点本部 (西吾妻福祉病院)の支援

支援要員派遣

No	派遣期間	派遣先	所属及び派遣人数	主な活動
1	1/23(火)	群馬県庁	群馬県支部(連絡調整員1名)	群馬県災害対策本部での連絡調整
2	1/23(火)	西吾妻福祉病院	群馬県支部(先遣要員2名)	活動拠点本部(西吾妻福祉病院)の支援、 草津町へ救援物資輸送
3	1/23(火)	災害医療センター (立川市)	前橋赤十字病院(医師1名)	DMAT事務局の支援 ※DMAT隊員養成研修に参加していた

※1 トリアージとは、災害や大事故などで多数の傷病者がたどるとき、緊急度・重症度により治療の優先順位をつけること。
トリアージの区分は、赤色(最優先治療群)、黄色(待機治療群)、緑色(軽処置群)、黒色(処置・搬送後回し群)と色分けされる。

災害派遣職員からのレポート



藤塚 健次 医師
(前橋赤十字病院)

私は、ドクターヘリでDMAT活動拠点本部となった西吾妻福祉病院に向かい、参集したDMATと搬送された傷病者の診療の統括指揮を行いました。参集したDMATは、全部で18班、傷病者は12名でありました。
多数傷病者が発生した関越道バス事故や軽井沢スキーバス事故への出動経験から、消防と直ちに連携をとり、DMAT出動要請も一早くに行え、医療チーム体制を作ることができました。多くの機関の方々のお陰で、本事業を乗り越えることができました。しかしながら、1名の方を救えなかったことは非常に悔やまれます。
局地災害は、『いかに迅速に対応できるか』と思っております。今後も一人でも多くの方の命を救えるように、日々の診療・訓練等に励み、色々な機関と連携をとりながら研鑽していきたく思います。



中村 晶子 看護師
(原町赤十字病院)

今回、当院にとって初めてのDMAT出動となりました。私はDMAT活動拠点本部に到着後、赤エリア※で活動しました。顔も名前も知らない者同士の中でしたが、リーダーの医師が中心となり1つのチームで傷病者を助けるために必死な思いでした。次から次へと運び込まれる傷病者の対応に無我夢中でしたが、傷病者の方の様子と赤エリアの壮絶な状況は今でも鮮明に覚えています。今回の初めての経験を無駄にせず次に繋げていきたいと思っております。

※ 赤エリアとは、トリアージにより最優先で治療が必要な傷病者を収容する場所。

主な活動地域

天狗山第5駐車場にて負傷者のトリアージ等を行う。



本白根山噴火
(1月23日午前9時59分ごろ)

DMAT活動拠点本部
(西吾妻福祉病院)



群馬県災害対策本部(群馬県庁)



ドクターヘリで災害現場に向かう医療班(第2班)



救援物資を積み現地に向う支部職員

献血に立ち上がれ!

～プロのラグーマンと若者たちが呼びかける～

毎年恒例「はたちの献血」キャンペーン※が、1月14日(日)にスマーク伊勢崎にて開催されました。当日は1日所長として、ジャパンラグビートップリーグのパナソニックワイルドナイツから「戸室達貴選手」、「ベンガンター選手」が来場し、トークショーやクイズ、県内の高校生ボランティアと一緒に献血の呼びかけも行いました。また、今回は県内の大学生らが初出演し、次々とパフォーマンスが行われ、華やかな会場となりました。

1日で89名の献血受付があり、本キャンペーンはたくさんの方たちからご協力をいただくことができました。



※ 毎年1月1日～2月末まで全国で展開するキャンペーンで、例年献血者が減少しやすい冬期に、新たに成人を迎える若者を中心として国民の皆さまに献血に対する理解と協力をお願いしております。

